

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和14年度
市町村名 (市町村コード)	愛川町 144011
地域名 (地域内農業集落名)	角田 東峰・中曽根・中段・峰・西峰

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	36.8 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	33.8 ha
② 田の面積	0 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	36.3 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	16.9 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考) 区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	6.7 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考) ・⑤については、特定することが困難なため④と同面積とした。 ・(参考)については、今後も所有者が耕作する意向を確認できた農地と、令和6年12月末時点で現に利用権設定している農地のうち、耕作者が70歳以上の農地面積の合計を記載している。	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当該地域の農業の現状については、法人による施設栽培及び少量多品目の露地栽培が中心となっている。こうした現状下で、所有者が貸し付ける意向のある農地面積(16.9ha)のうち、実際に利用権設定されているのは(13.5ha)であることから、今後利用可能な農地が(3.4ha)ある。今後、高齢化や人口減少に伴い、耕作放棄地の増加が見込まれることから、新たな担い手の確保が必要となる。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

法人による農業参入も図られ、施設栽培や有機農業、さらには従来からの慣行農業に取り組む農業者が混在しているため、互いに影響が及ばない営農が必要。隣接する地域に地場産品販売所の構想があるため、販路の拡大等を図り、さらなる発展を目指す。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンク(農地中間管理機構)の利用を促進し、担い手への農地の集積化を図る。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	36.7	%	将来の目標とする集積率
			45.9 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農地バンクを活用しながら、集団化を目指した農地利用に取り組む。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
定期的に関係する協議の場を活用して、担い手の意向を把握し、集団化を目指した集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農業委員会が行う意向調査を踏まえ、中間管理機構の利用を促進する。
(3)基盤整備事業への取組
基盤整備事業を行う予定なし。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
多様な経営体の意向に沿い、当該地域が適地である場合には、定着までをサポートしながら育成していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
県央愛川農業協同組合への、畑の耕耘や草刈り及び水稻における田植えや刈取り作業等委託を効率的に活用する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①有害鳥獣による農業被害の防止対策として、防除柵・電気柵の設置を促進し、深刻な被害が継続する場合はわなによる捕獲を行うなど被害の防止に努めるとともに、地域の誘因物(放棄果樹や農業残渣等)除去等助言を行うなどして対策に努める。
- ②有機農業者への農地集積・集約を進め、有機農業の取組面積拡大を図る。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 14 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	S1	露地野菜	0.2 ha	0 ha	露地野菜	0.2 ha	0 ha	S1	
到達	S2	露地野菜	1.61 ha	0 ha	露地野菜	1.61 ha	0 ha	S2	
認農	S3	養豚・野菜	0.78 ha	0 ha	養豚・野菜	0.78 ha	0 ha	S3	
認農	S4	酪農	1.72 ha	0 ha	酪農	1.72 ha	0 ha	S4	
到達	S5	露地野菜・果樹等	0.46 ha	0 ha	露地野菜・果樹等	0.46 ha	0 ha	S5	
到達	S6	露地野菜・その他	0.11 ha	0 ha	露地野菜・その他	0.11 ha	0 ha	S6	
到達	S7	露地野菜	0.26 ha	0 ha	露地野菜	0.26 ha	0 ha	S7	
認農	S8	施設野菜	0.81 ha	0 ha	施設野菜	0.81 ha	0 ha	S8	
到達	S9	施設野菜・果樹	2.41 ha	0 ha	施設野菜・果樹	2.41 ha	0 ha	S9	
到達	S10	露地野菜	1.09 ha	0 ha	露地野菜	1.09 ha	0 ha	S10	
認就	S11	露地野菜	0.15 ha	0 ha	露地野菜	0.15 ha	0 ha	S11	
認農	S12	茶	3.43 ha	0 ha	茶	3.43 ha	0 ha	S12	
認就	S13	露地野菜	0.15 ha	0 ha	露地野菜	0.15 ha	0 ha	S13	
利用者	S14	露地野菜	0.15 ha	0 ha	露地野菜	0.15 ha	0 ha	S14	
認農	S15	露地野菜	0.78 ha	0 ha	露地野菜	0.78 ha	0 ha	S15	
計	15経営体		14.11 ha	0 ha		14.11 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	県央愛川農業協同組合	廃棄農薬・マルチの回収 耕耘、草刈り 耕耘、代掻き、田植え 刈取り、脱穀、もみすり	野菜 水稻

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。